

事業所名	グループホーム 敬愛 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成20年 3月31日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 社会福祉法人生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー B:現職 特別養護老人ホーム勤務 資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームから程近いところには、スーパーや丘陵を利用した大型の公園(グリーンヒルズ)等があり、散歩や買い物に出かけるにも便利である。また、バス停も近くにあり、交通の便も良い。 ・医療機関とのしっかりした提携があり、日常の検診・健康相談はもとより、急変時にも速やかな医療対応ができ、入居者は安心して生活できる。 ・ホームは2ユニットで構成されており、ユニットごとに介護サービスや共用スペースの活用方法等に特徴がある。平素は独自の活動と生活介助を行っているが、常に連絡を取り合い、災害時等緊急の場合にはお互いに連携して協力し合う体制が整っている。 ・理念にある「優しい心を大切に」を常に心掛け、自然体で心を開いたケアを行い、入居者が潤いのある生活を送れるよう日々励んでおり、入居者にも明るい快活な笑顔が溢れていた。 ・職員は入居者の自発的意思を尊重し、無理強いすること無く、入居者が自分からしたくなるまで待っている。職員は入居者と一緒に作業等を行い、入居者と一体となって共同生活を送っている。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
特に改善すべき点は無い。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族会を年1~2回開催し、入居者家族との結びつきを深めている。今後も、運営推進会議等を通じ、より多くの地域関係者の協力を得て、地域との連携を深めていけることを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかに安らぎのある暮らしの実現のため、入居者に優しく寄り添い、一人ひとりを大切にしながら一緒に暮らしていくことを目指している。 ・入居者個々の生活を重視し、入居者の希望や要望を中心に、自分らしく自由に楽しい生活が送れ、可能な限り今までの生活スタイルが続けられるように支援している。 ・自分で出来ることを自分からしたいと思えるように、入居者に「生き甲斐と潤い」のある生活を提供するように努力している。 ・認知症高齢者である入居者個々の心身の痛みを緩和して心を癒し、日々穏やかに暮らせるように支援している。また、スキンシップを始め、入居者への関わり方・言葉使いに留意しながら介護に励んでいる。 ・馴染みの関係を作り、入居者を心の目で見えるケアに努め、楽しい共同生活を通じて生きる喜びを味わってもらえるように支えている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの委員会を設け、入居者の趣味を生かした作業やトラブル防止策等様々な案件を検討し、ホームでの生活が活性化するように取り組んでいる。 ・入居者の生活リズムを尊重し、その人らしいペースで楽しく過ごせるよう入居者本位の生活を支援している。 ・職員は、入居者や家族の話に真摯に耳を傾けて信頼関係を築き、入居者が安心して心が癒されるホームとなるように努力している。 ・職員は、入居者との馴染みの関係を大切に、ホーム生活に生き甲斐を感じてもらえるように取り組んでいる。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者個々の経歴・残存能力を把握し、出来ることを積極的に支援して意欲的に活動してもらおうように取り組んでいる。 ・プライバシーを損ねることがないよう、居室にはロックをして声を掛けてから入っている。ホームの「敬愛しんぶん」に入居者の写真等を掲載する時には、本人・家族の了解を得てから掲載しており、個人情報漏れることが無いよう徹底している。 ・個人記録は事務所で保管し、不要になった個人に関する書類は全てシュレッダーに掛けて処分している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場での出来事、小さな気づきを消さず記録し、職員全員で情報を共有できるようにして職員間の連帯感を強め、ケアサービスの質向上及びトラブル防止に努力している。 ・代表者は、新人研修を始め、職員教育に力を注ぎ、職員全員がレベルアップできるように配慮している。職員の資格取得も応援しており、外部研修にも積極的に参加を勧めている。 ・食中毒に関する衛生管理マニュアル、身体拘束マニュアルを設け、入居者の安全と人権擁護に特段の配慮をしている。 ・事故処理報告書を作成し、ヒヤリハットを含めその内容を詳細に記録し、再発防止に努めている。 		